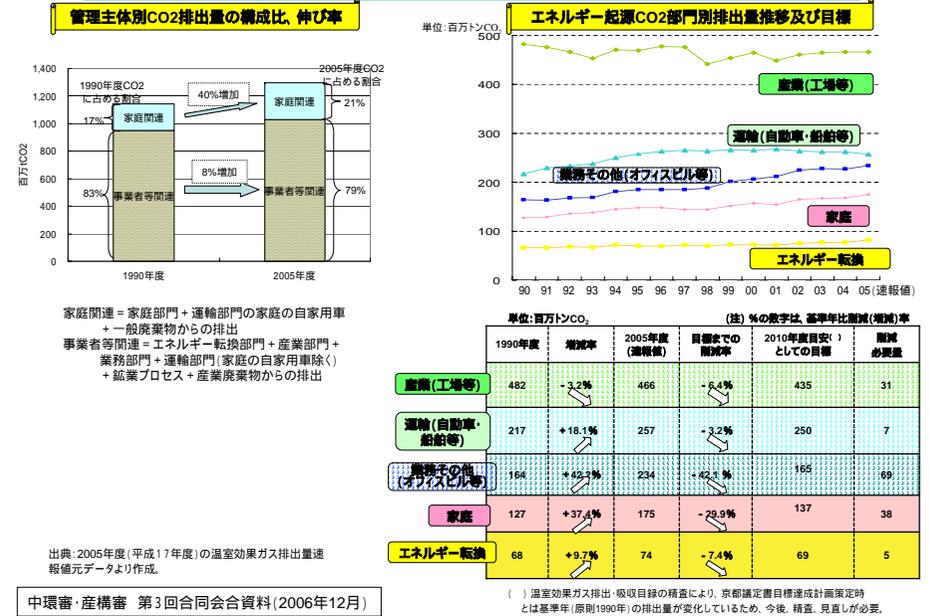


# 資料集(案)

## 【資料1】我が国の温室効果ガス排出量の推移



## 【資料2】物流部門におけるCO2排出削減に向けた取組

### クライメート・セイバーズ・プログラム

#### 2002年 WWFの温室効果ガス削減プログラム「クライメート・セイバーズ・プログラム」に参加

世界最大の民間環境保護団体であるWWFと、先進的な環境対策を進めている企業が協定を結び、CO<sub>2</sub>排出量削減を目指す

外部: 企業の自主的な取り組みに透明性と信頼性が与えられる  
 内部: 目標達成への強い責任感や緊張感が生まれる

日本企業としては第一号、物流部門としては世界初の参加

その他、ジョンソン・エンド・ジョンソン、IBM、ボロロイド、ナイキ、ラファージュ、コロンブ、サンテラ、パークス・アンド・リゾート、キャタリスト、ノボ、ノルディスク、テトラパック、ソニーの合計12社が参加

削減目標: 2012年度までに CO<sub>2</sub>総排出量6%削減(2002年度排出レベルより)

### クライメート・セイバーズ・プログラム

#### 当社に必要な設定条件による情報の作成

CNG車とディーゼル車の燃費調査は必須の課題。燃料成分からでのCO<sub>2</sub>排出では参考にならない。

独自に関東・中京・関西の車両40台を使用して、同じ車両・同じドライバー・同じコースで天然ガス自動車とディーゼル車を比較



天然ガス自動車はディーゼル車に比べ、  
 ・燃費が約5%劣るが、  
 ・CO<sub>2</sub>は20%削減できることが判明

## 【資料3】物流部門におけるCO2排出削減に向けた取組

### クライメート・セイバーズ・プログラム

<2004年度業績>

電機使用量(換気機・空調)	2002年度	2004年度	増減	2004年度削減率
換気機	878.681	843.223	-64.648	-7.3%
空調	7.134	7.260	0.144	2.0%
電機使用量合計	885.815	850.483	-35.332	-3.9%

燃費調査結果	2002年度	2004年度	増減	2004年度削減率
燃費調査車両数	13,204	13,817	+4,613	34.9%
天然ガス使用車両数	5,110	5,197	87	1.7%
CNG/LPG使用車両数	1,998	1,865	-133	-6.7%

車両ごとの燃費調査結果	2002年度	2004年度	増減	2004年度削減率
六州支社	0	1	1	100%
関西支社	1	1	0	0%
関東支社	4	53	49	12.3%
東北支社	0	1	1	100%
合計	5	66	61	12.2%

### クライメート・セイバーズ・プログラム

2005年度CO<sub>2</sub>総排出量は355,232tで、2002年度比96.89%

2002年度比 **3.11% 削減**

	2002年度	2005年度	増減	削減率
総排出量	366,619	355,232	-11,387	-3.1%
削減率	96.89%	96.89%	0%	0%

(単位: t-CO<sub>2</sub>)

【宅配便取扱台数の推移】